

2020年3月期 第1四半期 決算補足資料

2019年7月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況（連結）
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）
- 7) ファイナンス事業の営業状況（連結）
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2020年3月期 計画

- 1) 連結業績予想

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は前年同期比6.5%増加
- ・資金調達環境は良好な状態を維持
- ・倒産状況については、件数・負債総額ともに前年同期比減少

【営業実績】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高・成約高ともに前年同期比大幅増加
- ・ファイナンス事業についても前年同期比増加

<賃貸・割賦事業>

契約実行高： **17.6%増** 成約高： **39.3%増**

<ファイナンス事業>

契約実行高： **2.0%増** 成約高： **2.0%増**

【経営成績】

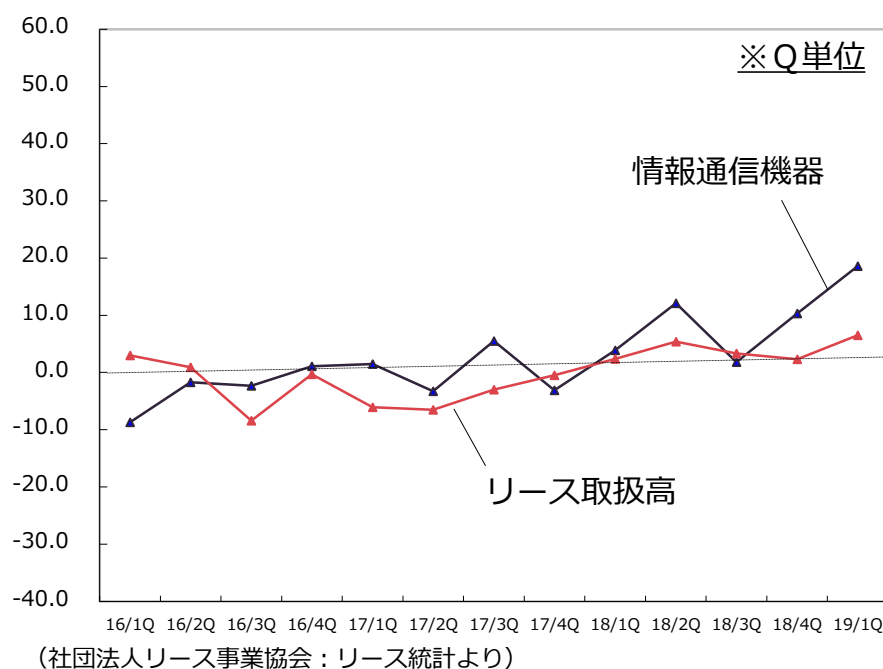
- ・リサ事業のファンドビジネスにおける売却収益等により、売上高・利益共に前年同期比大幅増加

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

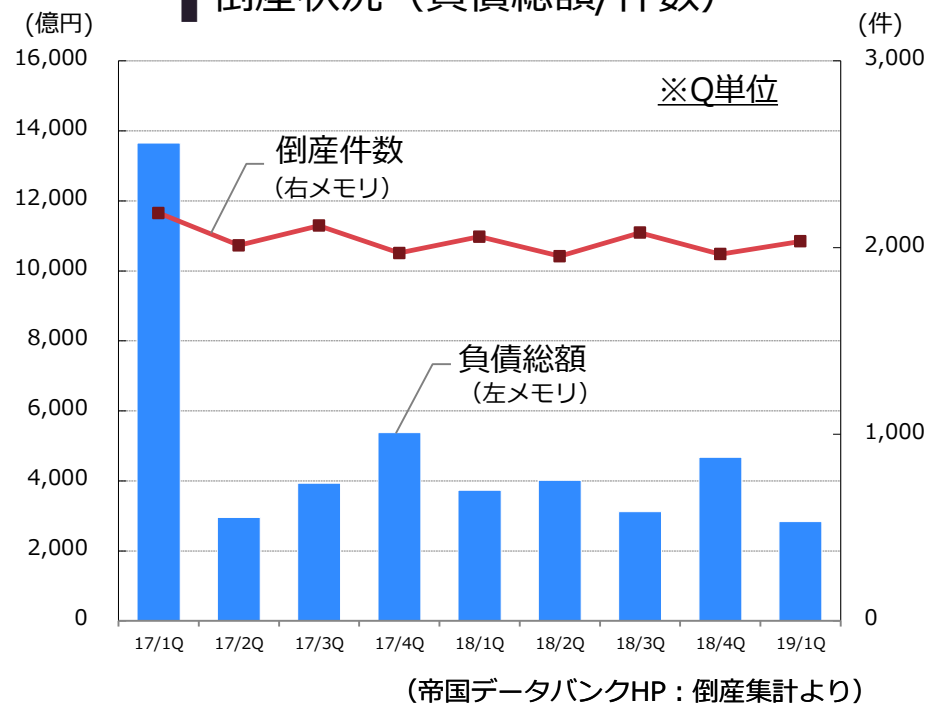
2) 事業環境

- ・リース取扱高：業界全体のリース取扱高については前年同期比6.5%の増加
当社の主力である情報通信機器は前年同期比18.6%の増加
- ・倒産状況：19年6月期における倒産件数および負債総額は前年同期比減少

リース取扱高動向（四半期単位前年同期比推移）



倒産状況（負債総額/件数）



1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

3) 業績概要（連結）

- ・売上高 : リサ事業におけるファンドビジネスの売却収入等の増加から前年同期比7.5%の増加
- ・経常利益 : リサ事業における収益計上に加え、為替評価益の発生により前年同期比71.5%の増加

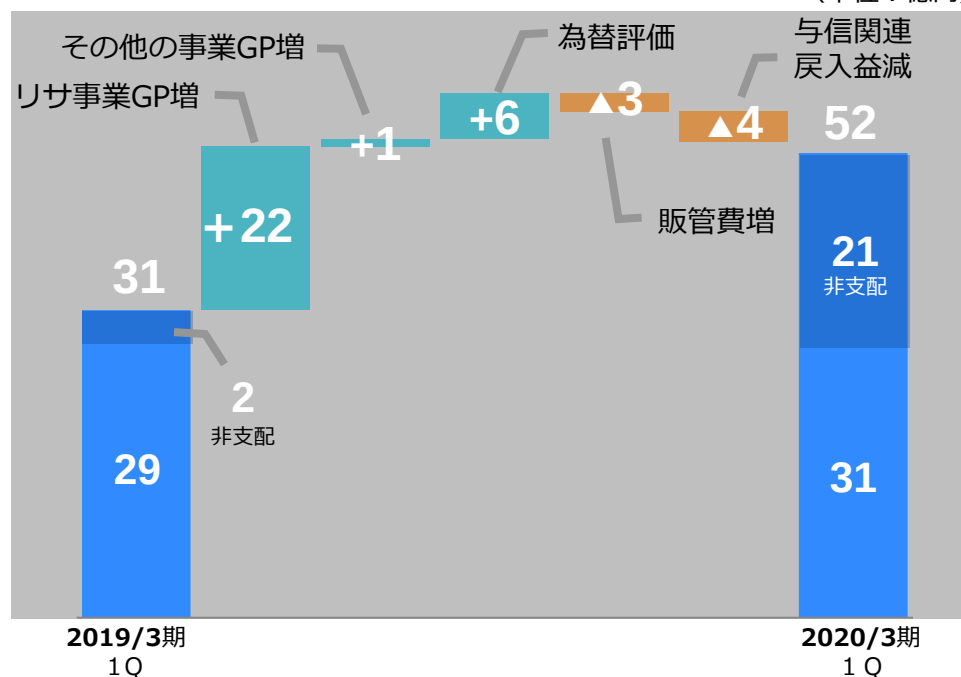
業績数値

(単位：億円)

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
売上高	547	588	+7.5%
営業利益	34	50	+45.6%
経常利益	31	52	+71.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	20	26	+27.6%
1株当たり四半期純利益	92円82銭	118円47銭	—
営業資産残高	7,962	8,250	+3.6%
純資産	1,027	1,064	+3.5%
自己資本	856	907	+6.0%
自己資本比率（%）	9.8	10.1	+0.2
1株当たり中間配当金（円）	25	30	+5.0

経常利益 前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

（単位：億円）

		2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
賃貸・ 割賦事業	売上高	418	420	+0.5%
	売上総利益	28	28	+1.3%
	営業利益	12	11	▲11.4%
ファイナンス 事業	売上高	16	16	+5.0%
	売上総利益	12	12	▲5.0%
	営業利益	13	8	▲37.5%
リサ 事業	売上高	72	113	+56.7%
	売上総利益	26	48	+83.4%
	営業利益	16	36	+121.8%
その他の 事業	売上高	41	38	▲6.4%
	売上総利益	4	4	+24.9%
	営業利益	▲3	▲1	-
計	売上高	547	588	+7.5%
	売上総利益	70	93	+32.1%
	営業利益	34	50	+45.6%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<賃貸・割賦事業>>

- ・売上高および売上総利益は前年同期比微増
- ・営業利益は、販管費増加により前年同期比11.4%減

<<ファイナンス事業>>

- ・売上高は前年同期並みであるものの、営業利益は与信関連戻入益の減少により、前年同期比37.5%減

<<リサ事業>>

- ・ファンドビジネスにおける投資有価証券売却益や配当収益があったことから、売上高・利益共に大幅増加

<<その他の事業>>

- ・売上高は、前年同期に大型の解約売上があったことから、前年同期比6.4%減
- ・営業利益は、販管費が改善したことから前年同期比改善

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況（連結）

事業別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	343	403	+17.6%
賃貸事業	317	346	+8.9%
割賦販売	25	57	+125.5%
ファイナンス事業	1,145	1,167	+2.0%
営業貸付金	936	986	+5.4%
一括ファクタリング	209	181	▲13.4%
その他の事業	17	23	+36.6%
計	1,504	1,593	+5.9%

事業別成約高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
賃貸・割賦事業	428	597	+39.3%
賃貸事業	411	546	+32.9%
割賦販売	17	51	+192.6%
ファイナンス事業	1,141	1,164	+2.0%
営業貸付金	932	983	+5.5%
一括ファクタリング	209	181	▲13.4%
その他の事業	17	21	+21.5%
計	1,586	1,781	+12.3%

<<契約実行高>>

- ・ 賃貸・割賦事業で大型案件の受注や顧客基盤の拡大により前年同期比大幅増加
- ・ また、ファイナンス事業も堅調に推移し全体で前年同期比5.9%増加

<<成約高>>

- ・ 賃貸・割賦事業は、官公庁・民需ともに大型案件を計上し前年同期比大幅増加
- ・ ファイナンス事業も堅調に推移したことで全体で前年同期比12.3%増加

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況（連結）

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
官公庁	150	153	+1.6%
民需	192	250	+30.0%
サービス業	50	60	+20.6%
流通業	78	60	▲23.3%
製造業	39	59	+52.5%
その他	26	71	+175.0%
計	343	403	+17.6%

業種別成約高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
官公庁	293	357	+21.8%
民需	135	240	+77.3%
サービス業	28	64	+128.3%
流通業	47	59	+24.7%
製造業	36	42	+16.2%
その他	24	76	+210.1%
計	428	597	+39.3%

（参考）機種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	226	302	+33.5%
電子計算機及び関連装置	116	161	+39.0%
ソフトウェア	99	130	+30.5%
通信機器及び関連装置	10	11	+1.9%
事務用機器	26	33	+24.0%
その他機器	91	69	▲24.1%
計	343	403	+17.6%

<<業種別契約実行高>>

- ・ベンダーファイナンスやICTレンタル等の強化施策により民需が大幅増加

<<業種別成約高>>

- ・官公庁・民需ともに大型案件を獲得したことにより前年同期比大幅増加

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況（連結）

契約形態別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
立替・APF・割賦バック	43	40	▲8.0%
個別ファクタリング	589	551	▲6.5%
一括ファクタリング	209	181	▲13.4%
企業融資	260	369	+41.9%
その他	44	27	▲38.1%
計	1,145	1,167	+2.0%

業種別契約実行高

（単位：億円）

	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
官公庁	2	1	▲29.4%
民需	934	985	+5.5%
サービス業	88	78	▲10.8%
流通業	58	44	▲23.1%
製造業	634	627	▲1.1%
金融業・保険業	90	115	+26.9%
不動産業	28	80	+185.2%
その他	36	41	+14.1%
一括ファクタリング	209	181	▲13.4%
計	1,145	1,167	+2.0%

<<契約形態別契約実行高>>

- ・ファクタリングの減少はあったものの、企業融資が堅調に推移したことにより前年同期比増加

<<業種別契約実行高>>

- ・民需における業種別では不動産業及び金融業・保険業を中心に前年同期比増加

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2019/3期 1Q	2020/3期 1Q	前年同期比
アセットビジネス	売上高	25	82	+225.5%
	売上総利益	15	38	+158.5%
	営業利益	10	32	+212.8%
不動産	売上高	45	29	▲35.1%
	売上総利益	10	9	▲12.3%
	営業利益	9	7	▲18.3%
アドバイザー	売上高	2	1	▲13.1%
	売上総利益	1	1	▲9.5%
	営業利益	▲0	▲1	-
のれん他	売上高	0	0	-
	売上総利益	0	0	-
	営業利益	▲2	▲2	-
連結ベース 計	売上高	72	113	+56.7%
	売上総利益	26	48	+83.4%
	営業利益	16	36	+121.8%

ファンドビジネスにおける
売却案件等により、
売上高、利益ともに大幅増加

<<アセットビジネス>>

- ・投資有価証券売却益や配当収益があったことにより、増収増益

<<不動産>>

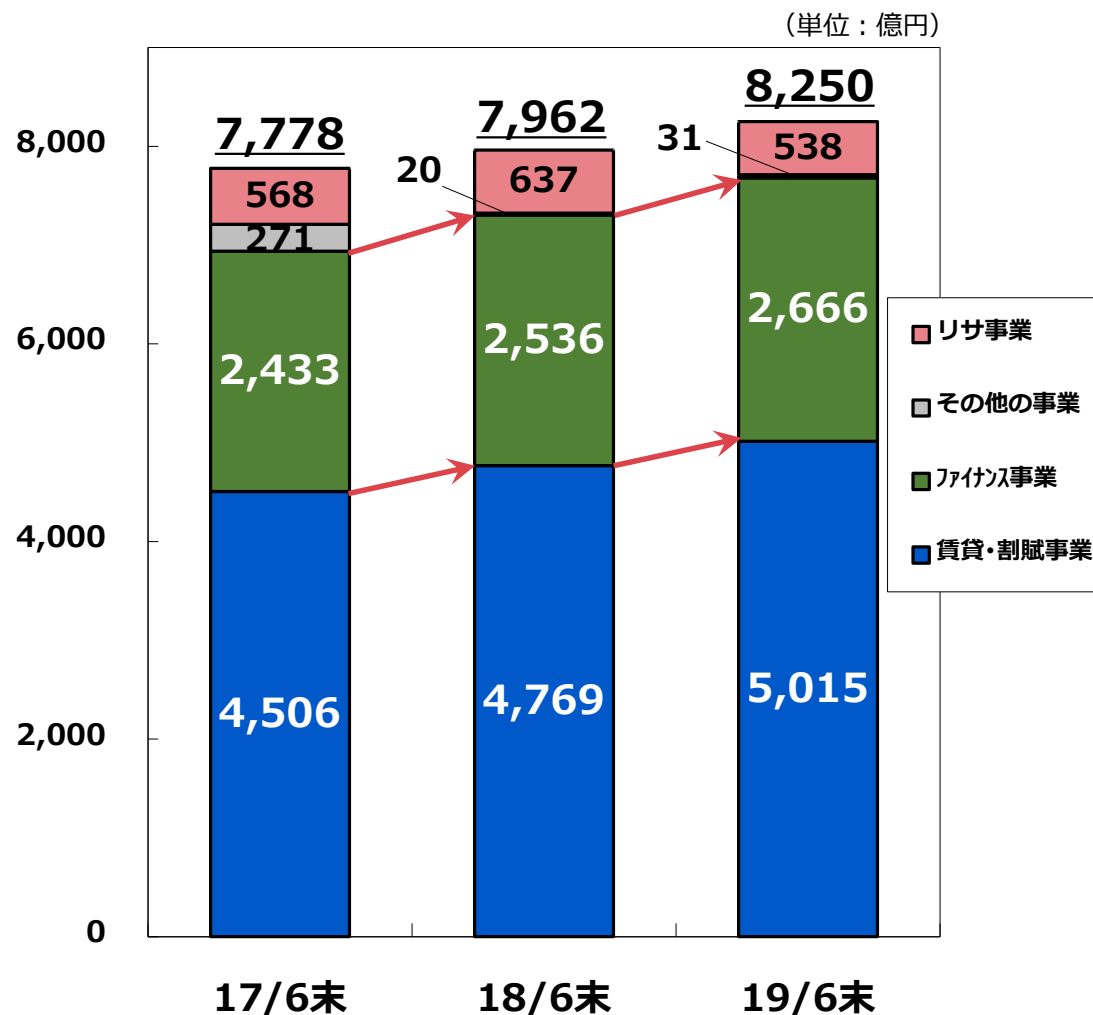
- ・前年同期に大型の販売用不動産の売却があったことから減収減益

<<アドバイザー>>

- ・M & A 関連等の手数料収入を安定的に確保

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況（連結）



<<貸貸・割賦事業>>

- ・官公庁・民需共に伸長、民需ではベンダーファイナンスやICTレンタル等の強化施策が奏功し、前年同期比246億円の増加

<<ファイナンス事業>>

- ・外貨建てを含む企業融資が伸長し前年同期比130億円の増加

<<その他の事業>>

- ・ヘルスケア関連施設の取得等で前年同期比11億円の増加

<<リサ事業>>

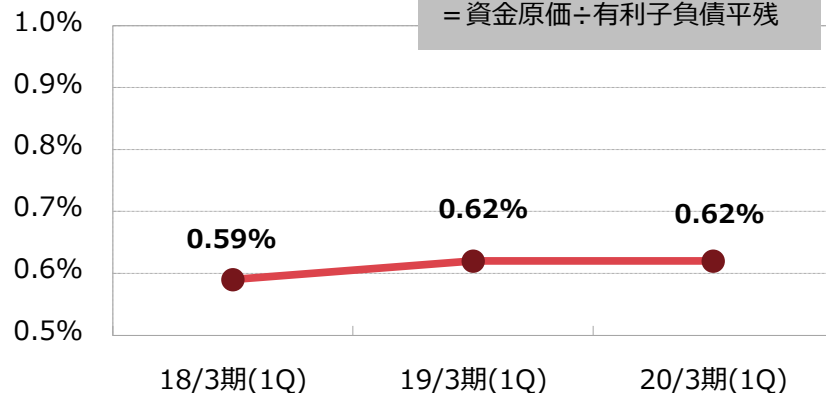
- ・ファンドのEXITや買取債権の回収等により前年同期比99億円の減少

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

10) 資金調達状況（連結）

資金原価率

資金原価率 (%)
= 資金原価 ÷ 有利子負債平残

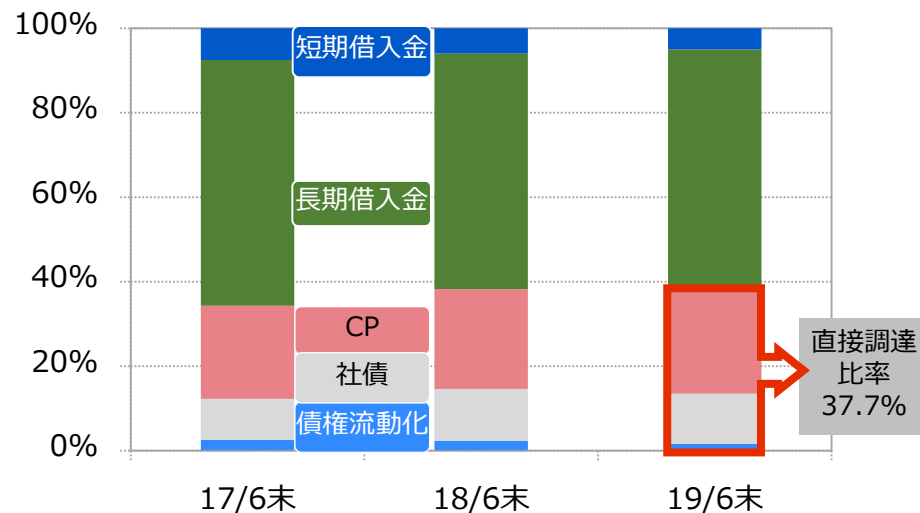


有利子負債残高

(単位：億円)

	19/3期 1Q	構成比	20/3期 1Q	構成比	増減
短期借入金	442	6.0%	378	5.0%	▲64
長期借入金	4,074	55.7%	4,319	57.3%	+246
CP	1,730	23.6%	1,820	24.2%	+90
社債	900	12.3%	900	11.9%	+0
債権流動化	169	2.3%	117	1.6%	▲52
計	7,315	100.0%	7,534	100.0%	+219

有利子負債構成比

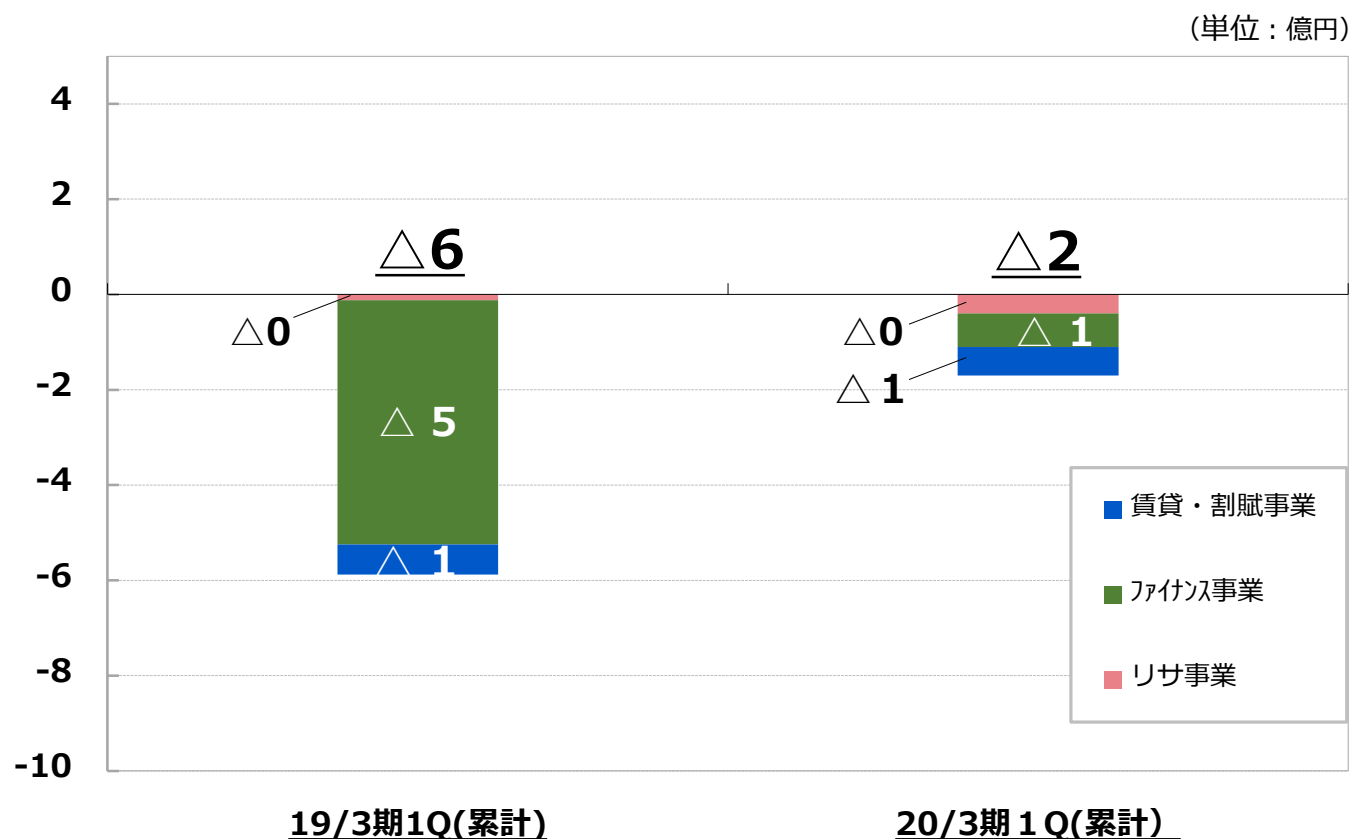


- ・ 資金原価率は0.62%と前年同期並み
- ・ 直接調達比率は低下
(2018/6末 38.3% → 2019/6末 37.7%)

1. 2020年3月期 第1四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

- 与信関連費用は、戻入益の減少等により前年同期比4億円の増加



2. 2020年3月期 計画

2. 2020年3月期 計画

1) 連結業績予想

- ・ 中期計画2017策定時の見通しを上回る予想

連結業績予想

(単位：億円)

	2020/3期 第1四半期	2020/3期 年間	中計2017 年間計画値
	実績	予想	ご参考
売上高	588	2,100	-
営業利益	50	100	-
経常利益	52	100	85
親会社株主に帰属する純利益	26	65	45
1株当たり純利益（円）	118円47銭	301円86銭	-

1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2019/3期 実績	25円00銭	30円00銭	55円00銭
2020/3期 予想	30円00銭	30円00銭	60円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものでもありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC